

# グラフでみる加工食品の 生産・販売・外食等の指標



## 目次

### < グラフでみる "コロナショック"からの再生 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

### < 今月のトピック >

農林水産物・食品の輸出動向  
食料品の支出弾力性



# 1 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品の調査対象のうち、特に今般の新型コロナウイルス感染症の影響が大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

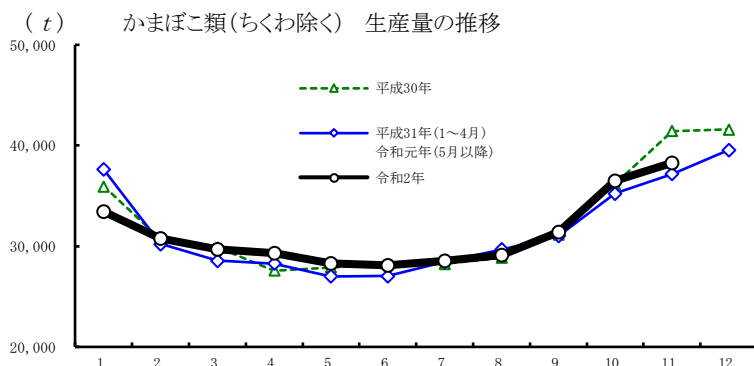
なお、なお、詳細は、<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>

「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

## ○ かまぼこ

生産量 対前年同月比

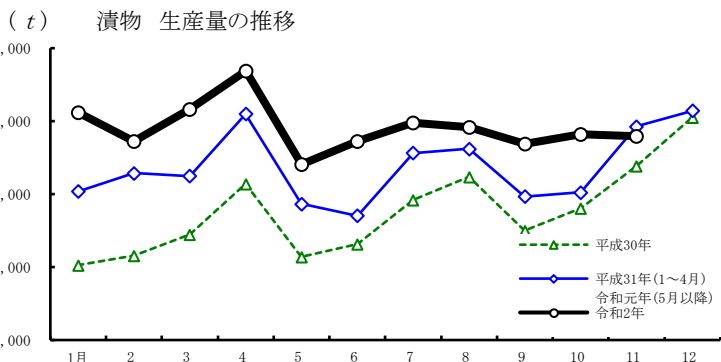
**11月 2.9% 増加**



## ○ 漬物

生産量 対前年同月比

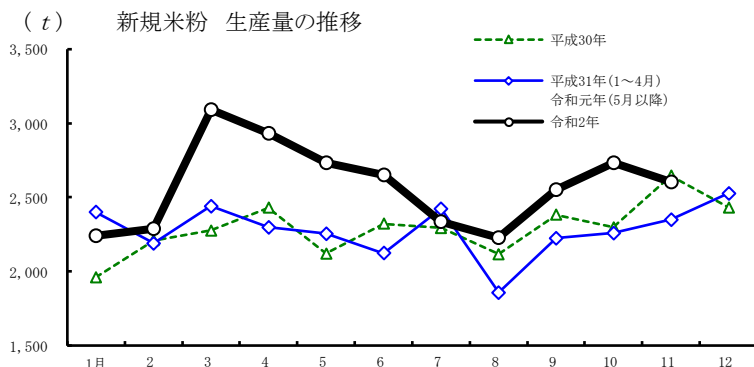
**11月 1.1% 減少**



## ○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

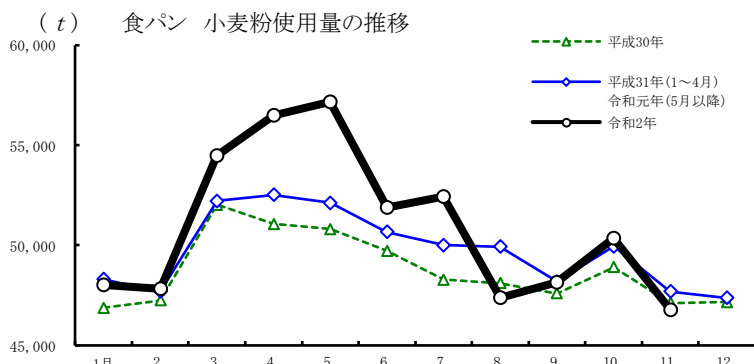
**11月 10.7% 増加**



## ○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

**11月 2.0% 減少**

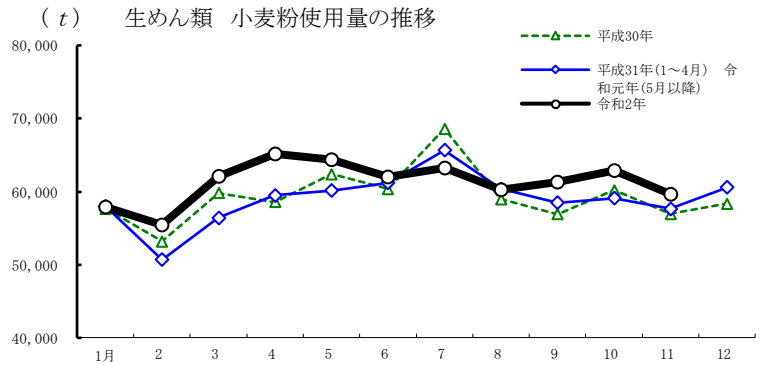


# 1 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

## ○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

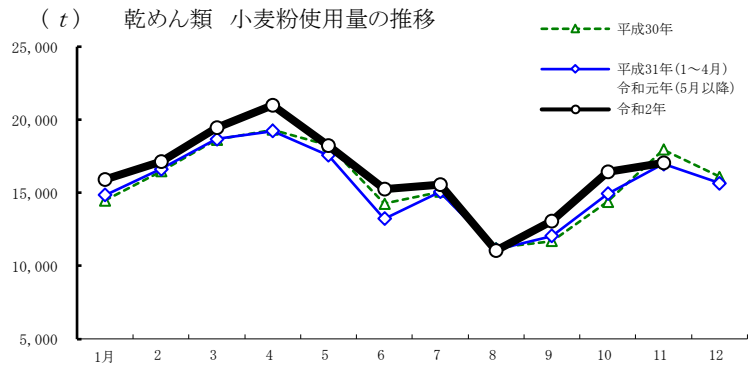
**11月 3.4% 増加**



## ○ 乾めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

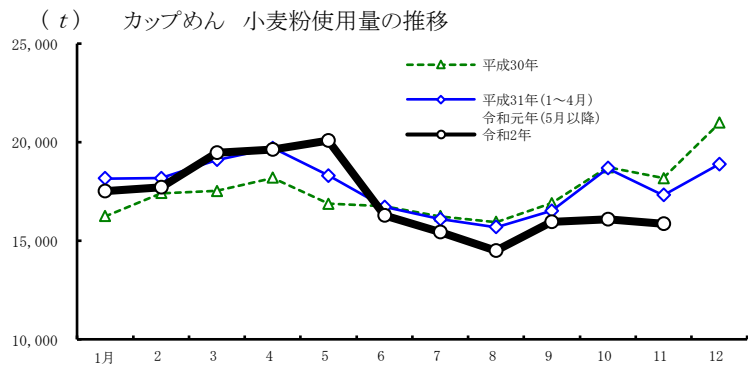
**11月 0.4% 増加**



## ○ カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

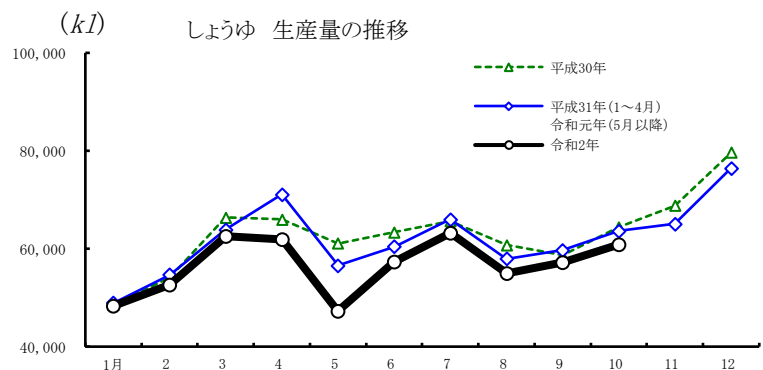
**11月 8.4% 減少**



## ○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

**10月 4.3% 減少**

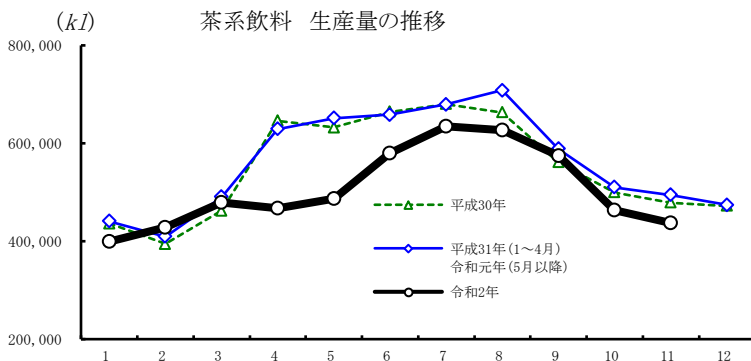


# 1 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

## ○ 茶系飲料等

生産量 対前年同月比

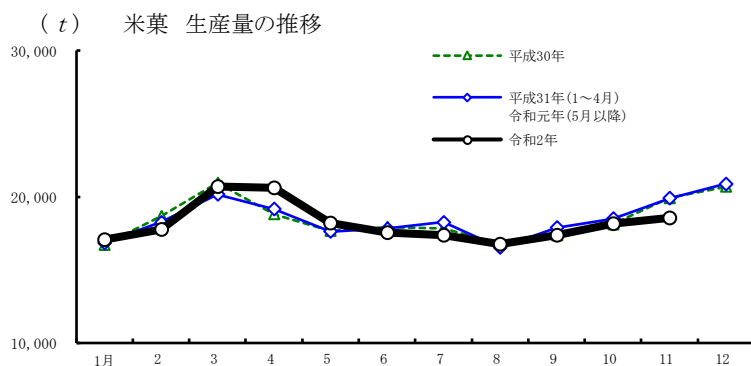
**11月 11.6% 減少**



## ○ 米菓

生産量 対前年同月比

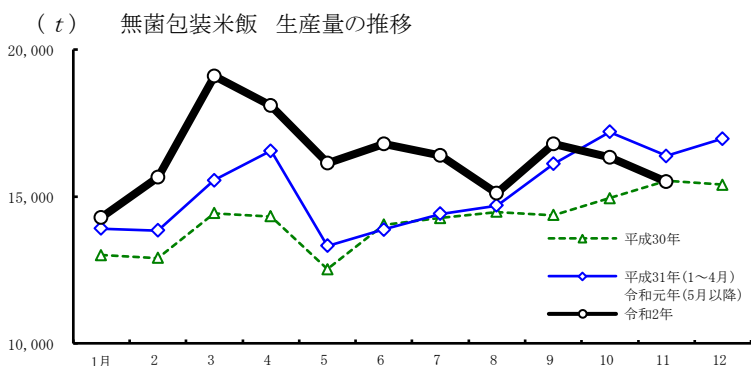
**11月 7.0% 減少**



## ○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

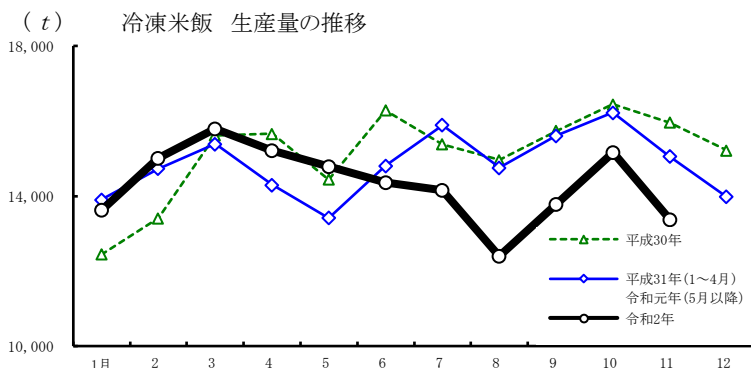
**11月 5.3% 減少**



## ○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

**11月 11.2% 減少**



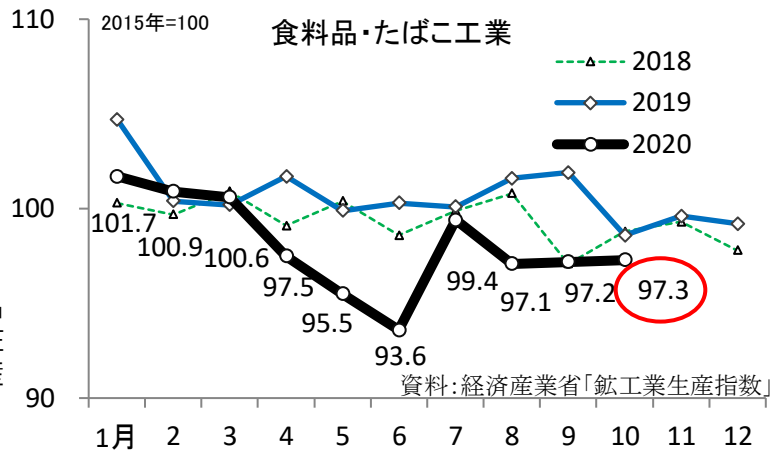
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向  
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

10月 1.3% 低下

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



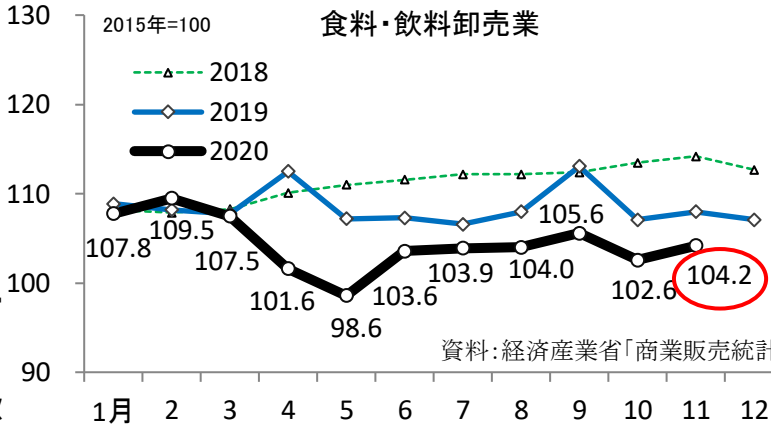
2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

11月 3.5% 減少

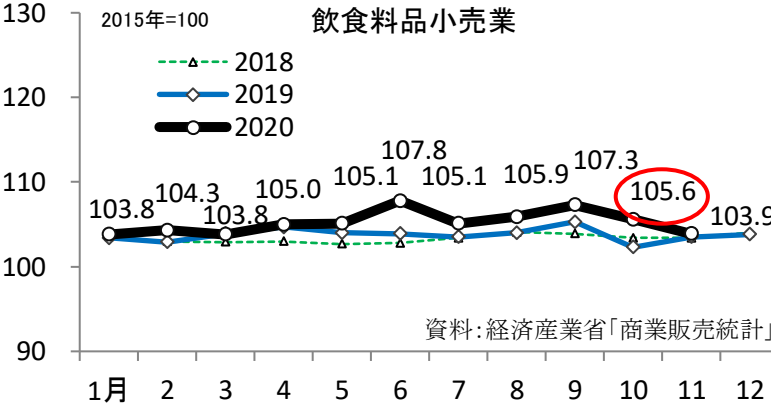
経済産業省「商業販売統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報)について、みることができます。(以下、続きます。)



○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

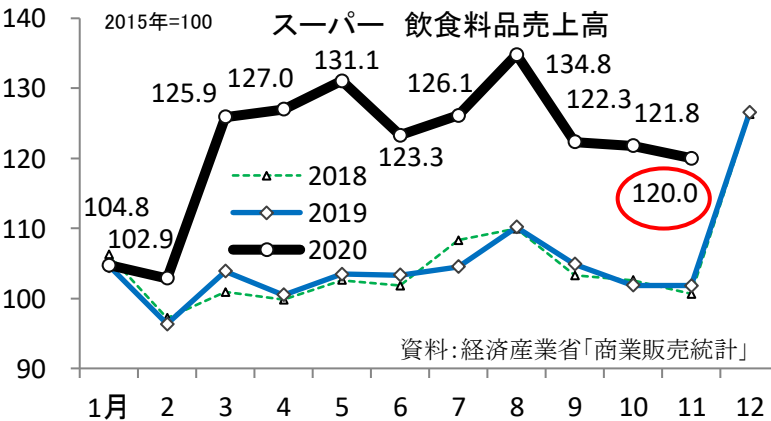
11月 0.4% 増加



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

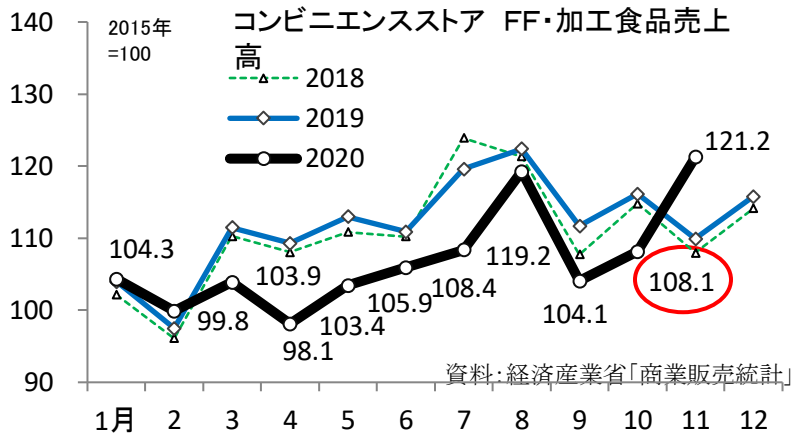
11月 17.9% 増加



## 2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

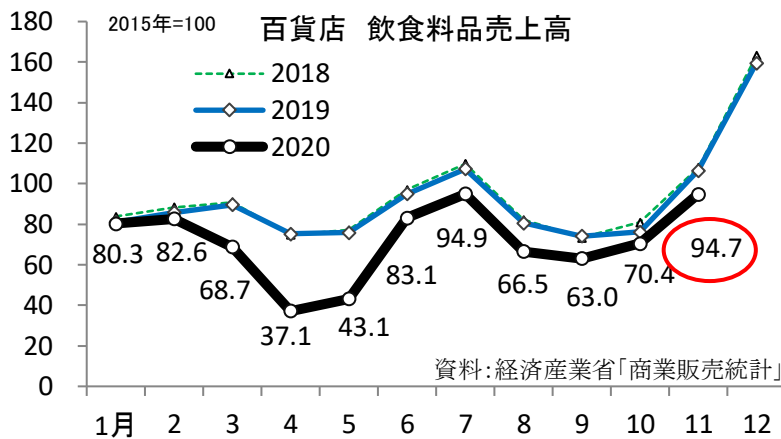
### ○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比  
**11月 10.3% 増加**



### ○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比  
**11月 11.1% 減少**

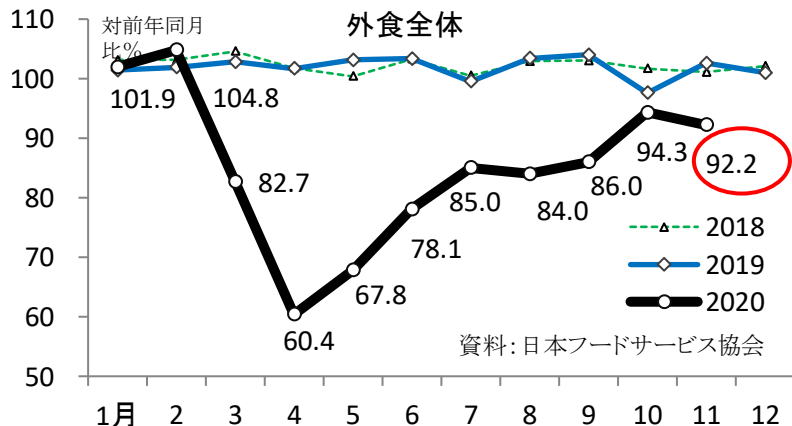


## 3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック">

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。  
 (以下、続きます。)

### ○ 外食全体

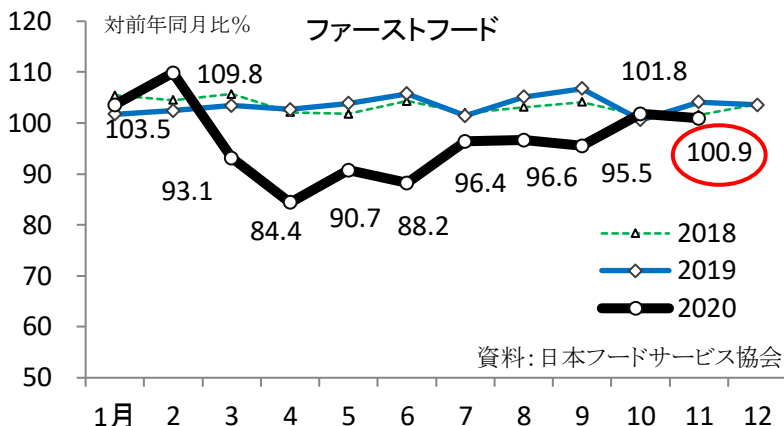
全店売上高 対前年同月比  
**11月 7.8% 減少**



### 3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

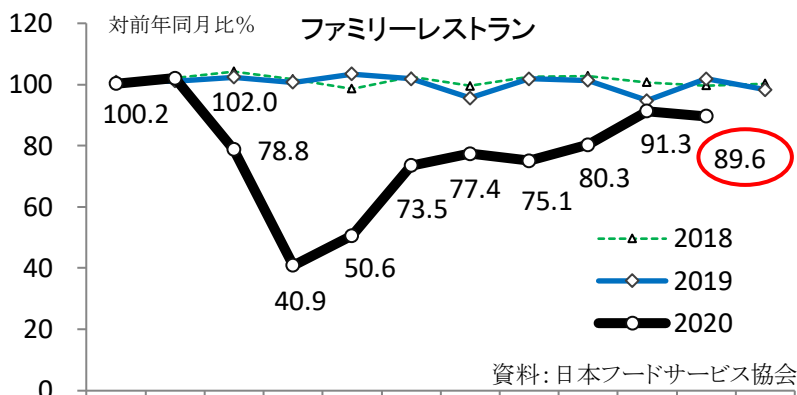
#### ○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比  
**11月 0.9% 増加**



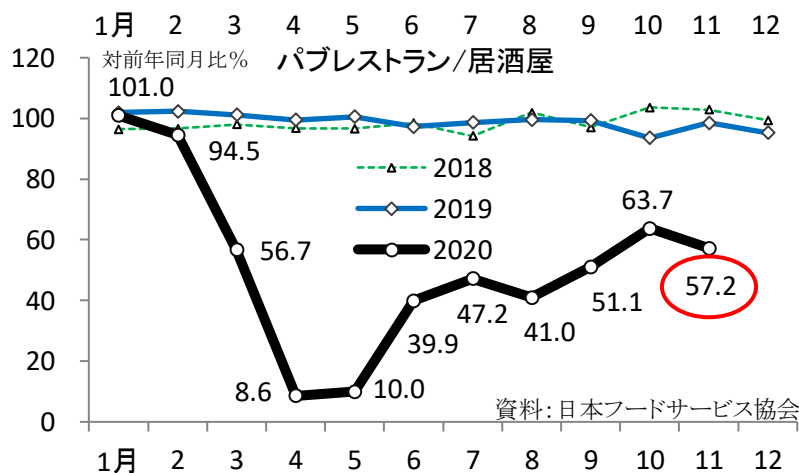
#### ○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比  
**11月 10.4% 減少**



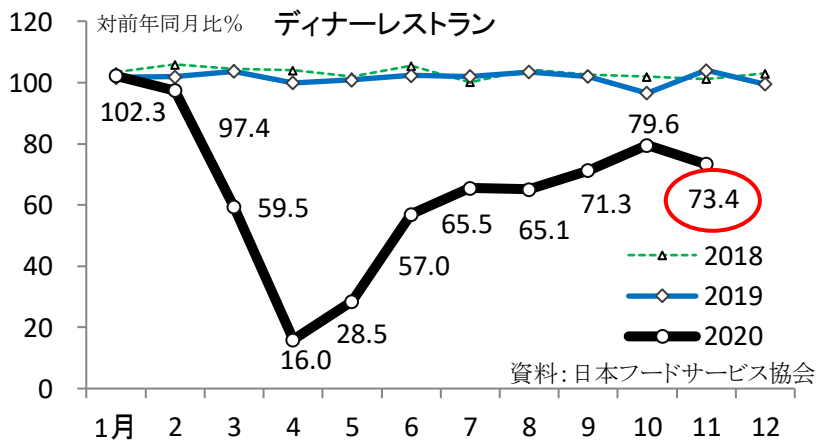
#### ○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比  
**11月 42.8% 減少**



#### ○ デイナーレストラン

全店売上高 対前年同月比  
**11月 26.6% 減少**

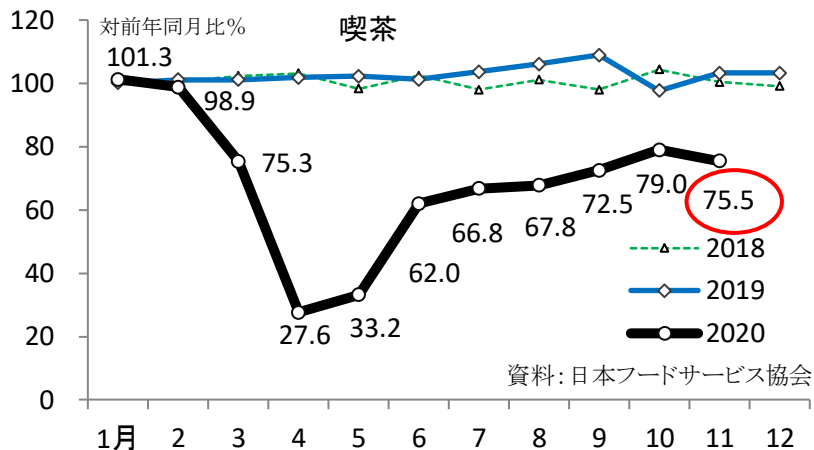


### 3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

#### ○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

**11月 24.5% 減少**



### 4. 食料品の物価

#### ○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

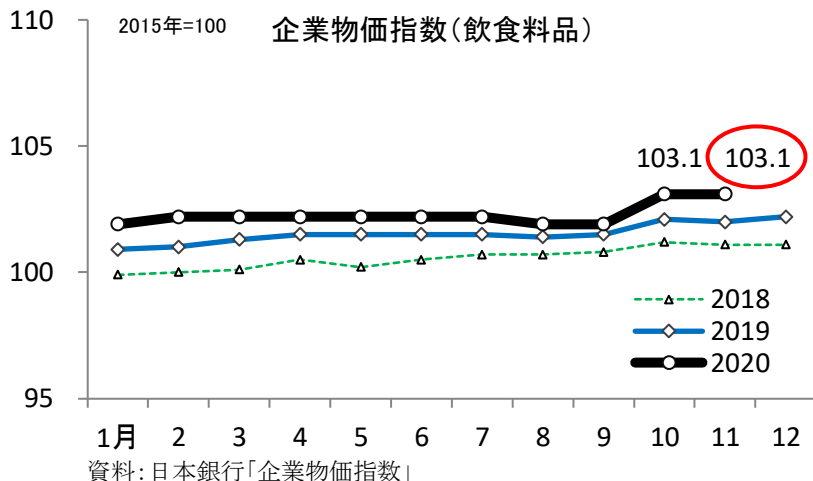
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

#### ○ 企業物価指数 (飲食料品)

飲食料品 対前年同月比

**11月 1.1% 上昇**



#### ○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の家帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

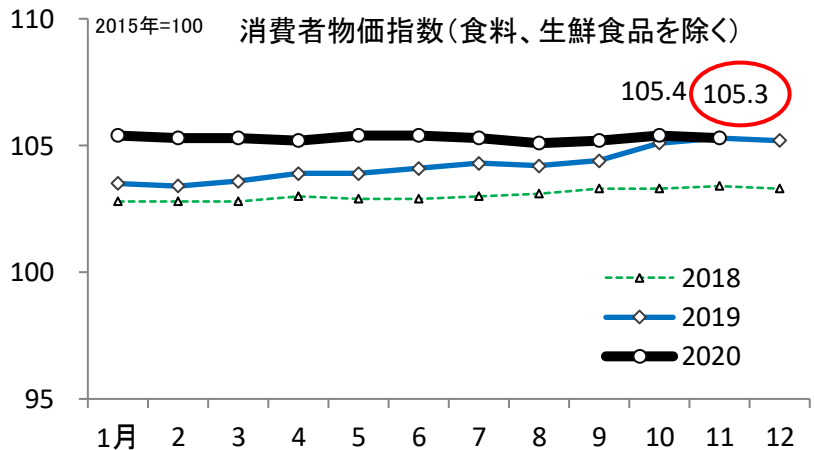
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

#### ○ 消費者物価指数 (食料、生鮮食品を除く)

食料 対前年同月比

**11月 0.0% 前年並み**





## 2020年11月 農林水産物・食品の輸出額

農林水産省  
食料産業局

	金額	前年差	前年比
11月単月	889億円	+51億円	+6.1%
1-11月累計	8,215億円	▲20億円	▲0.2%

### 品目別の状況

#### 輸出額の増加が大きい主な品目

品目	増加額	主な増加国
アルコール飲料	+30億円	中国、香港
植木等	+6億円	ベトナム、中国
ソース混合調味料	+4億円	香港、オーストラリア、ドイツ

#### 輸出額の減少が大きい主な品目

品目	減少額	主な減少国
真珠	▲40億円	香港
ホタテ貝	▲10億円	中国
りんご	▲8億円	台湾

### 国・地域別の状況

#### 輸出額の増加が大きい国・地域

国・地域	増加額	主な増加品目
アメリカ	+18億円	緑茶、牛肉、インスタントコーヒー
台湾	+12億円	たばこ、ホタテ貝、たまねぎ
中国	+10億円	アルコール飲料

#### 輸出額の減少が大きい国・地域

国・地域	減少額	主な減少品目
香港	▲20億円	真珠、たばこ
タイ	▲4億円	かつお・まぐろ類、ホタテ貝
マレーシア	▲2億円	スープロス、ソース混合調味料

## 2020年の農林水産物・食品 輸出額（1-11月）品目別

農林水産省  
食料産業局

品目	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
<b>加工食品</b>	<b>334,790</b>	<b>12.5</b>
アルコール飲料	62,635	3.5
日本酒	20,663	▲2.0
ソース混合調味料	33,060	8.4
清涼飲料水	31,163	12.1
菓子（米菓を除く）	16,189	▲10.3
醤油	6,817	▲1.3
米菓（あられ・せんべい）	3,995	2.7
味噌	3,477	1.1
<b>畜産物</b>	<b>68,891</b>	<b>8.2</b>
畜産物	53,276	11.3
牛肉	25,146	▲4.4
牛乳・乳製品	20,563	21.9
鶏卵	4,187	113.5
鶏肉	1,880	8.7
豚肉	1,501	49.7
<b>穀物等</b>	<b>46,049</b>	<b>11.0</b>
米（援助米除く）	4,728	16.0
<b>野菜・果実等</b>	<b>38,687</b>	<b>4.6</b>
青果物	24,044	1.2
りんご	7,819	▲25.1
ぶどう	3,925	29.1
もも	1,871	▲1.4
いちご	1,832	9.8
ながいも	1,816	▲5.2
かんしょ	1,798	20.8
なし	724	2.2
かんきつ	556	8.8

品目	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
<b>その他農産物</b>	<b>96,612</b>	<b>7.6</b>
たばこ	12,779	▲17.9
緑茶	14,575	10.5
花き	9,292	4.3
植木等	8,376	5.6
切花	759	▲8.0
<b>林産物</b>	<b>34,267</b>	<b>1.4</b>
丸太	14,790	10.2
製材	6,071	12.6
合板	4,993	▲14.0
<b>水産物（調製品除く）</b>	<b>151,464</b>	<b>▲23.8</b>
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）	28,435	▲30.4
さば	19,236	1.1
かつお・まぐろ類	19,056	35.4
ぶり	15,420	▲25.3
いわし	7,559	▲3.3
真珠（天然・養殖）	6,682	▲79.4
たい	3,591	9.7
さけ・ます	3,166	▲15.1
すけとうたら	1,539	▲13.8
さんま	468	▲50.5
<b>水産調製品</b>	<b>50,715</b>	<b>▲17.4</b>
なまこ（調製）	15,701	▲14.6
練り製品	9,249	▲7.7
貝柱調製品	4,976	▲14.2
ホタテ貝（調製）	3,126	▲44.2

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

## 食料品の支出弾力性

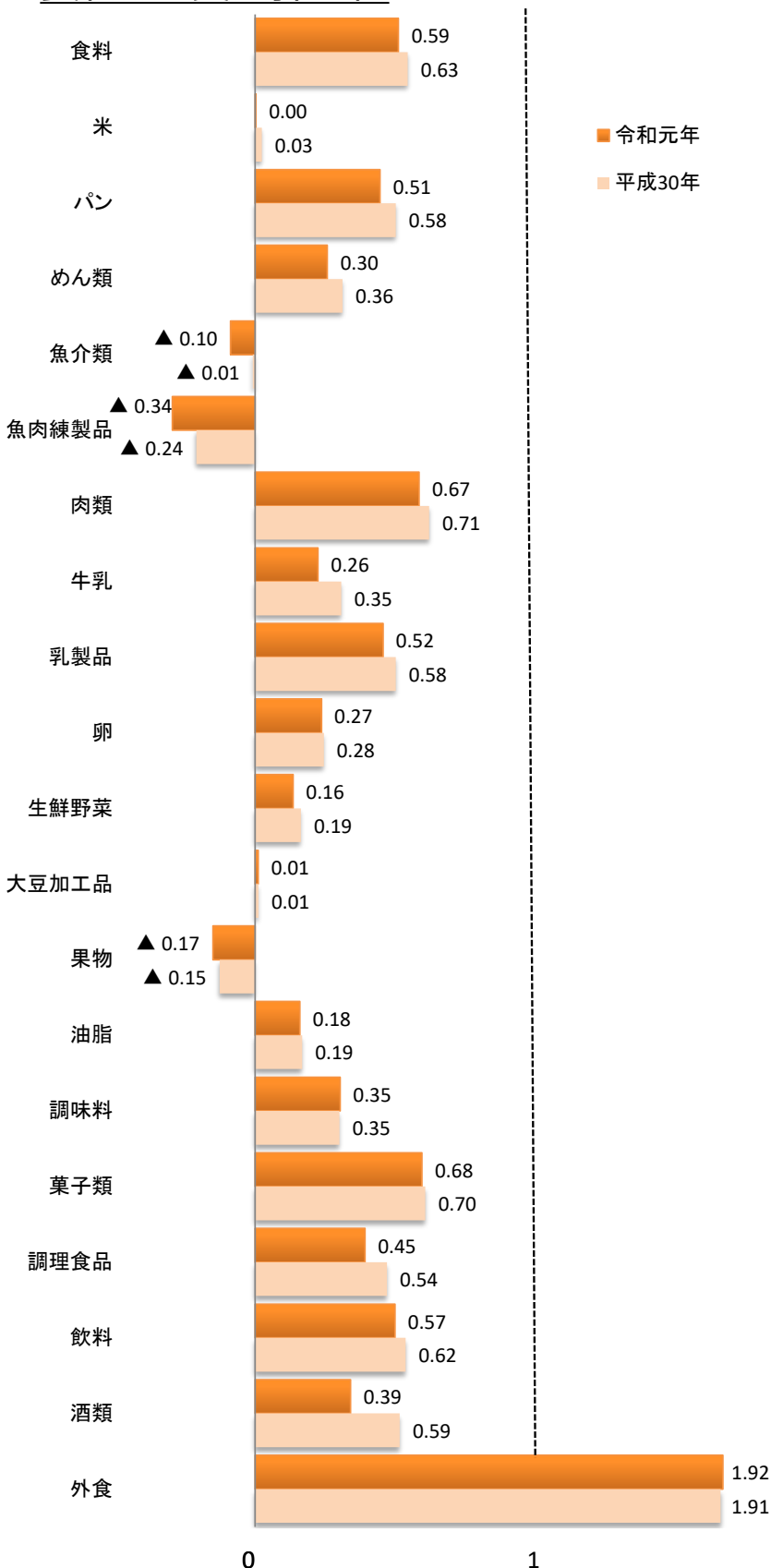
令和元年の食料品の支出弾力性が高いのは、外食、次いで菓子類、肉類、飲料、乳製品

令和元年の食料品の支出弾力性は、総務省「家計調査」によれば、0.59 となっている。

一般的に食品は1.00 を下回ることから、基礎的支出 (必需品) に分類されている。一方、外食のように1.00 を上回り、弾力性の値が大きいものは、消費支出総額が増加するときに支出が大きく増加するものであり、選択的支出 (贅沢品) に分類される。

品目別にみると、外食の値が最も大きく1.92、次いで、菓子類が0.68、肉類が0.67、飲料が0.57、乳製品が0.52、パンが0.51、調理食品が0.45 となっている。

一方、最も小さいのは魚肉練製品で▲ 0.34、次いで果物が▲ 0.17、魚介類が▲ 0.10 となっている。



資料: 総務省「家計調査(2人以上世帯・全国)」より作成